

研究室名
17-1-3 解析学研究室
最近の研究課題とその取り組みの概要
自然現象、社会現象、生物現象、もの作りのための設計・制御等をモデル化し、数式で表現することで微分方程式、最適化問題が得られる。本研究室では、様々な微分方程式や最適化問題について、解析的(数式のみ)あるいは数値計算を援用して、解の存在やその性質を調べている。また、非有界作用素環の立場から、その量子物理学への応用について、研究している。 黒瀬は、非有界作用素環の立場から量子群の研究を進めた。 仙葉は、拡散・移流の両方に走化性の効果があり対数関数を知覚関数として持つ方程式系に関して、解が時間大域的に存在する条件と時間大域解が一様有界になる条件を領域の次元を用いて明らかにした。また、この条件が満たされない特別な状況下で、無限時刻爆発解をその最大値の発散の速さが明らかになる形で構成した。 田中は、斜面の流れ、について、基礎方程式系として、圧縮性 Navier-Stokes 方程式を用いて、時間局所解の存在および、定常解のまわりでの時間大域解の存在の証明を行っている。2022年度は、線形化問題を解析した。 坂田は、関数の極大・極小問題を研究した。研究対象とした関数はたたみ込みである。たたみ込みが弱い意味で上に狭義凸になるための十分条件を与えた。これにより、たたみ込みが唯一つの最大点をもつための十分条件を導いた。 佐藤は、有限時間で解の最大値が無限大に発散するような完全非線形放物型方程式系の時間局所解の構成・時間大域解の構成を行い、時間大域解の存在に関する臨界指数の特定を進めた。 高倉は、可閉な非有界作用素から生成される部分 0^*-代数の構造について研究を進めた。 キーワード：半線形熱方程式、走化性方程式、圧縮性 Navier-Stokes 方程式、斜面の流れ、時間局所解と大域解、非有界*-代数、C^*-代数、極大・極小問題、たたみ込み、上への狭義凸性
研究員の構成員
黒瀬 秀樹(教授)・理学博士 仙葉 隆(教授)・博士(理学) 田中 尚人(教授)・博士(理学) 坂田 繁洋(准教授)・博士(理学) 佐藤 龍一(助教)・博士(理学) 高倉 真由美(助教)・博士(理学) 吉武 愛(助手)・学士(理学)
2022 年度の大学院生および卒論生の名簿と研究テーマ
4 年次生：16 名 研究テーマ：平面図形を埋めつくす連続曲線(3 名、黒瀬) 研究テーマ：最適化問題(4 名、田中)

研究テーマ：等周不等式(3名、田中) 研究テーマ：ロジスティック写像(3名、仙葉) 研究テーマ：Galileo の定理、Kepler の問題、Fagnano の問題(3名、坂田) 大学院2年次生：4名 修士論文題目「圧縮性粘性気体の1次元等温モデルシステムに対する解の一様有界性について」(指導教員：田中) 修士論文題目「一般化されたバーガース方程式のディリクレ問題に対する時間局所解の存在について」(指導教員：田中) 修士論文題目「粘性項がある1次元単独保存則に対する進行波解の漸近安定性について」(指導教員：田中) 修士論文題目「熱方程式の解の漸近展開とその hot potato kugel 定理への応用」(指導教員：坂田)
教員の担当科目
黒瀬 秀樹：(学部) 数学総合 III (応用数学科)、解析学 I (応用数学科)、基礎数学研究(応用数学科)、卒業研究 I、II (応用数学科)、行列と行列式 I、II (工学部)、関数論(工学部) 仙葉 隆：(学部) 基礎微分積分及び演習(応用数学科)、基礎数学研究(応用数学科)、卒業研究 I、II (応用数学科)、微分積分 I、II (工学部)、数学 B (化学科、物理科学科(ナノサイエンスインスティテュートコース))、数学入門(共通教育)、基礎数学(共通教育) 田中 尚人：(学部) 教職のための数学演習(応用数学科)、関数論 I (応用数学科)、数理ファイナンス(応用数学科)、基礎数学研究(応用数学科)、卒業研究 I、II (応用数学科)、微分方程式(経済学部)、最適化と制御(経済学部)、数学入門(共通教育) (大学院) 現代解析学入門 I、II 坂田 繁洋：(学部) 数学総合 I (応用数学科)、基礎数学研究(応用数学科)、卒業研究 I、II (応用数学科)、微分積分 I、II (工学部)、関数論(工学部) (大学院) 関数解析学講究 II 佐藤 龍一：(学部) 数学総合 I (応用数学科)、応用線形代数入門(応用数学科)、応用微分積分入門(応用数学科) 高倉 真由美：(学部) 基礎微分積分及び演習(応用数学科)、微分積分 I 及び演習(応用数学科)、数学 IV (地球圏科学科) 吉武 愛：(学部) 社会数理のための数学実習 I (応用数学科、補助)、プログラミング II 及び実習(応用数学科、補助)、情報システム論 I、II (応用数学科、補助)
教員の所属学会
黒瀬 秀樹：日本数学会

仙葉 隆：日本数学会、日本応用数理学会

田中 尚人：日本数学会

坂田 繁洋：日本数学会

佐藤 龍一：日本数学会

高倉 真由美：日本数学会

最近 5 年間の学術論文

(すべて査読有)

- T. Senba (with K. Fujie), Global existence and infinite time blow-up of classical solutions to chemotaxis systems of local sensing in higher dimensions, *Nonlinear Analysis* **222** (2022), 1–7.
- T. Senba (with K. Fujie), Global boundedness of solutions to a parabolic-parabolic chemotaxis system with local sensing in higher dimensions, *Nonlinearity* **35** (2022), No. 7, 3777–3811.
- T. Senba (with Y. Naito), Existence of peaking solutions for semilinear heat equations with blow-up profile above the singular steady state, *Nonlinear Analysis* **181** (2019), 265–293.
- T. Senba (with K. Fujie), Blowup of solutions to a two-chemical substances chemotaxis system in the critical dimension, *Journal of Differential Equations* **266** (2019), 942–976.
- T. Senba (with B. Bieganowski, T. Cieřlak, K. Fujie) Boundedness of solutions to the critical fully parabolic quasilinear one-dimensional Keller-Segel system. *Math. Nachr.* **292** (2019), 724–732.
- S. Sakata, Euclidean geometric description of radial centers of a triangle, *Colloq. Math.* **170** (2022), No. 2, 275–288.
- S. Sakata (with J. O’ Hara), Strict power concavity of a convolution, *Ann. Mat. Pura Appl.* (1923–). **201** (2022), 1553–1575.
- S. Sakata, Analytic characterization of equilateral triangles, *Ann. Mat. Pura Appl.* (1923–), **200** (2021), 2191–2212.
- S. Sakata (with I. Herburt), An extremum problem for the power moment of a convex polygon contained in a disc, *Adv. Geom.* **21** (2021), no. 4 599–609.
- S. Sakata (with Y. Wakasugi), Movement of time-delayed hot spots in Euclidean space for a degenerate initial state, *Discrete Contin. Dyn. Sys. Ser. A*, **40** (2020), No. 5, 2705–2738.
- R. Sato (with G. Akagi, K. Ishige), General framework to construct local-energy solutions of nonlinear diffusion equations for growing initial data, *J. Funct.*

Anal. 284 (2023), Paper No. 109891. R. Sato (with T. Kosugi), Existence of global-in-time solutions to a system of fully nonlinear parabolic equations, Acta Appl. Math. 181 (2022), Paper No. 14. R. Sato (with Md. Rabiul Haque, N. Ioku, T. Ogawa), Well-posedness of the Cauchy problem for convection-diffusion equations in uniformly local Lebesgue spaces, Differential Integral Equations 34 (2021), 223–244. R. Sato (with J. Eom), Large time behavior of ODE type solutions to parabolic p-Laplacian type equations, Commun. Pure Appl. Anal. 19 (2020), 4373–4386. R. Sato (with G. Akagi, K. Ishige), The Cauchy problem for the Finsler heat equation, Adv. Calc. Var. 13 (2020), 257–278. R. Sato, Existence of solutions to the slow diffusion equation with a nonlinear source, J. Math. Anal. Appl. 484 (2020), 123721, 14pp. R. Sato (with J. Takahashi), Critical exponents for the fast diffusion equation with a nonlinear boundary condition, J. Math. Anal. Appl. 482 (2020), 123526, 9 pp. R. Sato (with Md. Rabiul Haque, T. Ogawa), Existence of weak solutions to a convection-diffusion equation in a uniformly Lebesgue space, Comm. Pure Appl. Anal 19 (2020), 677–697.
最近 5 年間の学術著書
該当なし
最近 5 年間の学術国際会議での発表(* は国際研究集会)
仙葉隆, 走化性方程式の爆発解の構成 I, II, 第 8 回偏微分方程式レクチャーシリーズ, 福岡工業大学, 2022 年 5 月 14 日・15 日 仙葉隆, Keller-Segel 系に関連する方程式系の解の挙動について, 非線型偏微分方程式と走化性, 北九州国際会議場, 2022 年 11 月 29 日から 12 月 1 日まで(講演日, 11 月 30 日) 仙葉隆, 走化性方程式系に関連する方程式系の解の挙動の閾値について, 第 10 回 弘前非線形方程式研究会, 弘前大学, 2022 年 12 月 16 日・17 日(講演日, 17 日) 仙葉隆, behavior of solutions to some chemotaxis systems with local sensing, 九州関数方程式セミナー, オンライン, 2022 年 4 月 15 日 *Takasi Senba, Blowup of solutions to a system related to chemotaxis systems, 第 44 回偏微分方程式論札幌シンポジウム, 北海道大学(札幌市), 2019 年 8 月 5 日から 7 日まで(講演日, 7 日) *Takasi Senba, Blowup of solutions to an indirect chemotaxis system, 京都大学数理解析研究所研究集会「偏微分方程式の臨界現象と正則性理論及び漸近解析」、京都大学数理解析研究所(京都大学), 2019 年 5 月 29 日から 31 日まで(講演日, 30 日) *Shigehiro Sakata, Something interesting derived from convolutions, Conference

“Energies of Knots, Residues of Manifolds and Related Topics”, Chiba University, March 18–20, (Talk, 20), 2023

坂田繁洋, たたみ込みの上への狭義べき凸性, 第 144 回日本数学会九州支部例会, 特別講演 (オンデマンド配信), 2021 年 2 月 13 日から 19 日まで(配信期間)

坂田繁洋, 距離核ポテンシャルの臨界点と正三角形の特徴づけ, 広島数理解析セミナー・冬の研究会 2020, 広島大学, 2020 年 1 月 31 日

坂田繁洋, 凸体の Riesz ポテンシャル, 中心, 切り口と影, 福岡大学微分幾何研究集会 2019, 福岡大学セミナーハウス, 2019 年 11 月 1 日から 4 日まで(講演日, 4 日)

坂田繁洋, 距離核ポテンシャルの臨界点による正三角形の特徴づけ, 第 66 回幾何学シンポジウム, 名古屋大学, 2019 年 8 月 26 日から 29 日まで(講演日, 27 日)

坂田繁洋, 凸多角形のモーメントの極値問題, 福岡大学微分幾何セミナー, 福岡大学, 2019 年 4 月 25 日

*Ryuichi Sato, Existence of global-in-time solutions to a system of fully nonlinear parabolic equations, 偏微分方程式の臨界現象と正則性理論及び漸近解析, 2022 年 6 月 1 日から 3 日まで(講演日, 2 日)

*Ryuichi Sato, Existence of solutions to the slow diffusion equation with a nonlinear source, 青葉山勉強会(第 16 回) “Reaction-Diffusion Equations”, オンライン, 2022 年 1 月 4 日

佐藤龍一, Existence of solutions to the slow diffusion equation with a nonlinear source, 第 253 回広島数理解析セミナー, オンライン, 2021 年 11 月 5 日

佐藤龍一, 完全非線形放物型連立系の時間大域解の存在, 九州関数方程式セミナー, オンライン, 2021 年 4 月 16 日

佐藤龍一, 完全非線形放物型連立系の時間大域解の存在, 第 10 回室蘭非線形解析研究会, オンライン, 2021 年 1 月 9 日

最近 5 年間の学術的会議の開催実績 (応用数学科・専攻のみ)

第 35 回九州における偏微分方程式研究集会

日時: 2023 年 1 月 30 日~2 月 1 日

会場: 九州大学西新プラザ

世話人: 瀬片 純市(九州大), 川島 秀一(早稲田大), 隠居 良行(東京工業大), 仙葉 隆(福岡大)

講演者: 相木 雅次(東京理科大), 岩渕 司(東北大), 小池 開(東京工業大), 高坂 良史(神戸大), 柴田 良弘(早稲田大), 清水 一慶(大阪大), Tomasz Piasecki (University of Warsaw), Neal Bez(埼玉大), 三浦 達哉(東京工業大), 山崎 陽平(九州大), 吉川 敦(九州大名誉教授), Julio Rossi (Universidad de Buenos Aires), Philippe G. LeFloch (Sorbonne Université), 若杉 勇太(広島大)

題目: 多数のため省略

URL: <https://www2.math.kyushu-u.ac.jp/FE-Seminar/kyu-pde/program/kyu-pde->

40(2023).pdf

九州関数方程式セミナー

開催期間：2022 年 4 月 15 日～2023 年 1 月 20 日

世話人：瀬片 純市(九州大)、仙葉 隆(福岡大)、三沢 正史(熊本大)、坂本 祥太(九州大)、Brezina Jan (九州大)、佐藤 龍一(福岡大)、藤井 幹大(九州大)、山崎 陽平(九州大)

講演者(所属、開催地又は開催形式、講演日)：仙葉 隆(福岡大、Zoom、4 月 15 日)、橋詰 雅斗 (広島大、Zoom、4 月 22 日)、若狭 徹 (九州工業大、Zoom、5 月 13 日)、町 原 秀二 (埼玉大、Zoom、5 月 20 日)、佐々木 多希子 (武蔵野大、Zoom、5 月 27 日)、吉澤 研介 (九州大、Zoom、6 月 3 日)、後藤 ゆきみ (九州大、Zoom、6 月 10 日)、高瀬 裕志 (九州大、Zoom、6 月 24 日)、菅 徹 (大阪公立大、Zoom、7 月 1 日)、柏原 崇人 (東京大、Zoom、7 月 8 日)、山崎 陽平 (九州大、福岡大学 セミナーハウス、7 月 15 日)、佐川 侑司 (千葉工業大、10 月 14 日、ハイブリッド開催 [九州大&Zoom])、長澤 壯之(埼玉大、ハイブリッド開催 [九州大&Zoom]、10 月 21 日)、中村 謙太 (熊本大ハイブリッド開催 [福岡大&Zoom]、10 月 28 日)、佐野 めぐみ(広島大、ハイブリッド開催 [九州大&Zoom]、11 月 11 日)、駒田 洸一 (中京大、ハイブリッド開催 [九州大&Zoom]、11 月 18 日)、北村 駿介 (東北大、ハイブリッド開催 [福岡大&Zoom]※1、11 月 25 日)、江夏 洋一 (東京理科大、ハイブリッド開催 [福岡大&Zoom]※1、11 月 25 日)、高村 博之 (東北大、九州大学西新プラザ※2、12 月 2 日)、宮崎 隼人 (香川大、ハイブリッド開催 [九州大&Zoom]、12 月 9 日)、福田 一貴 (信州大、ハイブリッド開催 [九州大&Zoom]、12 月 16 日)、藤井 幹大 (九州大、ハイブリッド開催 [九州大&Zoom]、1 月 20 日)

※1 福岡大学解析セミナーとの共同開催

※2 数理物理セミナーとの合同開催

題目：多数のため省略

2022 年度福岡大学解析セミナー

第 9 回(通し番号は年度内ではなく通算、以下同様)

日時：2022 年 11 月 25 日

会場：福岡大学 9 号館

世話人：坂田繁洋(福岡大学)、佐藤龍一(福岡大学)

講演者：北村駿介(東北大学)

題目：特性方向重み付き微分型線形波動方程式の解析

第 8 回

日時：2022 年 9 月 30 日

会場：Zoom

世話人：坂田繁洋(福岡大学)、佐藤龍一(福岡大学)

講演者：鬼塚政一(岡山理科大学)

題目：非線形常微分方程式のウラム安定性とリミットサイクルの近似

第7回

日時：2022年9月30日

会場：福岡大学9号館

世話人：坂田繁洋(福岡大学)、佐藤龍一(福岡大学)

講演者：北川潤(Michigan州立大学)

題目：放物型最適輸送方程式について

2021年度福岡大学解析セミナー

第6回

日時：2021年10月30日

会場：福岡大学9号館

世話人：柳青(福岡大学)、坂田繁洋(福岡大学)、佐藤龍一(福岡大学)

講演者：石毛和弘(東京大学)

題目：Dirichlet heat flowによって保存される凹性について

第5回

日時：2021年7月24日

会場：福岡大学9号館

世話人：柳青(福岡大学)、坂田繁洋(福岡大学)、佐藤龍一(福岡大学)

講演者：中里亮介(東北大学)

題目：Hall効果を伴う磁気粘性流体方程式系の臨界適切性

第39回九州における偏微分方程式研究集会

日時：2022年1月17～1月18日

実施形態：対面およびZOOMによるハイブリッド開催

世話人：瀬片純一(九州大)、川島秀一(早稲田大)、隠居良行(東工大)、仙葉隆(福岡大)、高田了(九州大)

講演者：可香谷隆(室蘭工業大学)、生駒典久(慶應義塾大学)、小菌英雄(早稲田大学、東北大学)、高橋太(大阪市立大学)、柴田徹太郎(広島大学)、阿部健(大阪市立大学)、堤誉志雄(京都科大学)、吉川周二(大分大学)、加藤正和(室蘭工業大学)、藤江健太郎(東北大学)

題目：多数のため省略

URL:[https://www2.math.kyushu-u.ac.jp/FE-Seminar/kyu-pde/program/kyu-pde-39\(2022\).pdf](https://www2.math.kyushu-u.ac.jp/FE-Seminar/kyu-pde/program/kyu-pde-39(2022).pdf)

第38回九州における偏微分方程式研究集会

日時：2021年1月25日～1月26日

実施形態：Zoomによるオンライン開催

世話人：瀬片純一(九州大)、川島秀一(早稲田大)、隠居良行(東工大)、仙葉隆(福岡大)、

高田了(九州大)

講演者：三竹大寿(東京大学)、小川卓克(東北大学)、竹田寛志(福岡工業大学)、大縄将史(東京海洋大学)、宮本安人(東京大学)、中西賢次(京都大学)、太田雅人(東京理科大学)、鈴木政尋(名古屋工業大学)、熊崎耕太(長崎大学)、利根川吉廣(東京工業大学)

題目：多数のため省略

URL:[https://www2.math.kyushu-u.ac.jp/FE-Seminar/kyu-pde/program/kyu-pde-38\(2021\).pdf](https://www2.math.kyushu-u.ac.jp/FE-Seminar/kyu-pde/program/kyu-pde-38(2021).pdf)

2020年度福岡大学解析セミナー

第4回

日時：2020年7月31日

実施形態：Zoom

世話人：柳青(福岡大学)、坂田繁洋(福岡大学)

講演者：Lorenzo Cavallina(東北大学)

題目：On two different two-phase overdertermined problems

第3回

日時：2020年6月12日

実施形態：Zoom

世話人：柳青(福岡大学)、坂田繁洋(福岡大学)

講演者：佐藤龍一(東北大学)

題目：Existence of solutions to the slow diffusion equation with a nonlinear source

第2回

日時：2020年1月30日

会場：福岡大学9号館

世話人：柳青(福岡大学)、坂田繁洋(福岡大学)

講演者：Paolo Salani(Firenze大学)

題目：Around concavity properties and heat transfer

第37回九州における偏微分方程式研究集会

日時：2020年1月27日～1月29日

会場：九州大学西新プラザ

世話人：山田直記(福岡大)、仙葉隆(福岡大)、川島秀一(早稲田大)、隠居良行、高田了(九州大)

講演者：Eduard Feireisl(The Czech Academy of Sciences)、柳青(福岡大学)、浜向直(北海道大学)、久保英夫(北海道大学)、Jan Brezina(九州大学)、Jiang Xu(Nanjing University of Aeronautics and Astronautics)、Nicola Visciglia(Universit`a di

Pisa)、津川光太郎(中央大学)、小澤徹(早稲田大学)、星野壮登(九州大学)、原田潤一(秋田大学)、可香谷隆(九州大学)、柳田英二(東京工業大学)

題目：多数のため省略

URL: <https://www2.math.kyushu-u.ac.jp/FE-Seminar/kyu-pde/program/>

2019 年度福岡大学解析セミナー

第 1 回

日時：2019 年 12 月 7 日

会場：福岡大学 9 号館

世話人：柳青(福岡大学)、坂田繁洋(福岡大学)

講演者：藤田安啓(富山大学)

題目：至る所微分不可能な関数と Hamilton-Jacobi flow

幾何学阿蘇研究集会 2019

日時：2019 年 9 月 1 日-4 日

会場：休暇村南阿蘇

世話人：小磯深幸(九州大学)、本多正平(東北大学)、庄田敏宏(佐賀大学)、坂田繁洋(福岡大学)

講演者：深谷友宏(首都大学東京)、松村慎一(東北大学)、三浦達哉(東京工業大学)、数川大輔(東北大学)、中島啓貴(東北大学)、齋藤俊介(理化学研究所)、中村拓也(九州大学)

題目：多数のため省略

URL: <http://extwww.cc.saga-u.ac.jp/~tshoda/aso2019.html>

RIMS研究集会「界面運動、力学系に現れる漸近問題への粘性解的手法とその周辺」

日時：2019 年 7 月 17 日～7 月 19 日

会場：京都大学数理解析研究所

世話人：三竹大寿(東大)、柳青(福岡大)

講演者：赤木剛朗(東北大)、Lorenzo Cavallina(東北大)、石毛和弘(東大)、Tianling Jin(Hong Kong Univ. of Science and Technology)、小池茂昭(早稲田大)、三栖邦康(北大)、岡本潤(東大)、小野寺有紹(東京工業大)、Armin Schikorra(Univ. Pittsburgh)、高棹圭介(京大)、館山翔太(早稲田大)、寺井健悟(東大)、Yifeng Yu(Univ. California, Irvine)、張龍傑(東大)

題目：多数のため省略

第 36 回九州における偏微分方程式研究集会

日時：2019 年 1 月 28 日～1 月 30 日

会場：九州大学西新プラザ

世話人：山田直記、仙葉隆(福岡大)、川島秀一(早稲田大)、隠居良行、高田了(九州

大)

講演者: Tai-Ping Liu (Academia Sinica), 三沢正史 (熊本大)、甲村博之 (東北大)、石渡哲 (芝浦工業大学)、Feimin Huang (Chinese Academy of Science), 三竹大寿 (東大)、Herbert Koch (University of Bonn), 水町徹 (広島大学)、堤誉志雄 (京大)、下條昌彦 (岡山理科大)、中村健一 (金沢大)、小林孝行 (阪大)、西畑伸也 (東京工業大)

題目: 多数のため省略

研究集会「若手のための偏微分方程式と数学解析」

日時: 2019 年 2 月 13 日～2 月 14 日

会場: 福岡大学セミナーハウス

世話人: 山田直記 (福岡大)、川島秀一 (早稲田大)、小川卓克 (東北大)、三沢正史 (熊本大)、小林孝行 (阪大)、井口達雄 (慶應大)、隠居良行 (九州大)

講演者: 大石健太 (名古屋大)、岡田晃 (京大)、金丸諒 (早稲田大)、中村健太 (九州大)、松井竜也 (東北大)、和久井洋司 (東北大)、森龍之介 (明治大)、石井裕太 (首都大)、張龍傑 (東大)、中村恒平 (埼玉大)

題目: 多数のため省略

研究集会「微分方程式の総合的研究」

日時: 2018 年 12 月 22 日～23 日

会場: 京都大学理学部

世話人: 仙葉隆 (福岡大)、原岡喜重 (熊本大)

講演者: 足立匡義 (京都大)、藤家雪朗 (立命館大)、本多尚文 (北海道大)、関行宏 (東京大)、松原宰栄 (神戸大)、岡部考宏 (大阪大)、佐野めぐみ (東京工業大)、柳青 (福岡大)、上田好寛 (神戸大)、戌亥隆恭 (大阪大)、津田照久 (一橋大)、高橋仁 (東京工業大)、小野寺栄治 (高知大)。

題目: 多数のため省略。

研究集会「若手のための偏微分方程式と数学解析」

日時: 2018 年 2 月 15 日—16 日

会場: 福岡大学セミナーハウス

世話人: 山田直記 (福岡大)、川島秀一、隠居良行 (九州大)、小川卓克 (東北大)、小林孝行 (大阪大)、井口達雄 (慶應大)、中村徹 (熊本大)

講演者: Prashant (京大)、佐川侑司 (阪大)、佐々木多希子 (明治大)、高野耕太 (埼玉大)、館山翔太 (東北大)、坂本翔太 (京大)、比佐幸太郎 (東北大)、中村憲史 (筑波大)、梶原直人 (東大)、鶴見裕之 (早稲田大)

題目: 多数のため省略

URL: www2.math.kyushu-u.ac.jp/FE-Seminar/kyu-pde/

最近5年間の代表者としての学外資金導入実績

科学研究費(基盤研究(C)) 平成5年度～令和9年度

研究課題: 対数関数を知覚関数にもつ走化性方程式系の閾値と解構造との関係に関する研究

研究代表者: 仙葉隆

科学研究費(若手研究) 令和2年度～令和5年度

研究課題: 凸体の双対体積の幾何不等式とそれから導かれる凸体の演算の性質

研究代表者: 坂田繁洋

科学研究費(基盤研究(C)) 平成30年度～令和4年度

研究課題: 非線形知覚関数を持つ走化性方程式系の解構造の解明

研究代表者: 仙葉隆

科学研究費(若手研究) 平成30年度～令和4年度

研究課題: 拡散方程式と非線形境界条件の数学解析

研究代表者: 佐藤龍一

科学研究費(若手研究(B)) 平成29年度～令和元年度(令和3年度まで延長)

研究課題: 凸体の輻射中心による交差体の凸性の研究

研究代表者: 坂田繁洋

科学研究費(基盤研究(C)) 平成26年度～30年度

研究課題: 一般化された走化性方程式の解構造の研究

研究代表者: 仙葉隆

最近5年間の代表者としての学内資金導入実績

研究推進部領域別研究 令和2年度～令和4年度

研究課題名: 関数の形状解析

研究代表者: 坂田繁洋

研究員: 黒瀬秀樹(令和3年度末まで)、仙葉隆、柳青(令和3年度末まで)、佐藤龍一(令和3年度から)

研究推進部推奨研究 令和元年度～令和3年度

研究課題名: 凸体の切り口に関する幾何学と確率論

研究代表者: 坂田繁洋

研究員: 天羽隆史、三石史人、江崎翔太

研究推進部領域別研究 平成29～令和元年度

研究課題名: 関数方程式

研究代表者: 仙葉隆

研究員: 田中尚人、山田直記、柳青、坂田繁洋(令和元年6月1日から)

大学院高度化推進経費 研究科特別経費 平成29年度

研究課題名: 走化性方程式系の確率的、幾何学的視点での研究

研究代表者：仙葉隆
最近5年間の学会等学術団体における役職など
仙葉 隆：九州関数方程式セミナー：世話人 日本数学会関数方程式論分科会委員 2015年度から2021年度 坂田繁洋：福岡大学解析セミナー：世話人 佐藤龍一：福岡大学解析セミナー：世話人
最近5年間の一般向け論文と著書、行政報告書など
該当なし
最近5年間の一般（非学術）集会での発表論文
該当なし
最近5年間の学術団体以外の団体での啓蒙活動や社会貢献活動とその役職など
仙葉隆：模擬講義(福岡工業大学附属城東高等学校、2022年3月14) 坂田繁洋：進路ガイダンス(佐賀県立三養基高等学校、2019年9月26日)、オープンキャンパスミニ講義(2019年8月3日)
その他特筆事項
該当なし